

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	こどもデイサービス きき			
○保護者評価実施期間	2025年1月1日 ~ 2025年12月25日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	4名	(回答者数)	3名	
○従業者評価実施期間	2025年1月1日 ~ 2025年12月25日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	7名	(回答者数)	7名	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	空間が広く、清潔で明るく整理整頓がされ、余計な装飾や情報を多くしないことで、必要な指示等が適切に配置され、子どもたちが混乱することなく、また、集中できるような環境づくりをしています	障がいの特性や成長に応じて、都度、最適な支援環境(意思伝達のツールや指示掲示物、トランジションエリア等)に工夫をし、子どもたちが安定して過ごすことができるようになります 集団の中で様々なコミュニケーションを体験し、人に興味を持つことや周りの楽しさの経験をつませています 体格や体幹、個々の状態に合わせてテーブルや椅子、足台、背もたれを用意したり、席の配慮を行い環境づくりをおこなっています	様々なツールや構造、環境など、常に多角的な視点で捉え改善や追加をしていきます
2	実務経験の長い、経験が豊富な職員が多く、協働期間も長いため連携がスムーズであり、様々なケースにチームとして対応してきた実績を積んできていることが強みです 経験豊富な職員による専門的支援実施を計画し、より細かな課題に取り組むことができています	各職員が、子どもたち個々の状況や実態を捉え(活動状況一覧表に記録)情報共有をし、全体を通して職員全員で検討することにより、より迅速に個々の課題を見出し、対応していくようになります 成長の過程での子どもの気持ちを尊重しながら、見守りや促しを交え、多くの経験を積ませ生活習慣や動作を教えていきます 専門的支援実施では、計画した課題に対し、動作、補助動作等を細分化し、しっかりと時間をかけ身につかせていきます	職員が個別支援計画に基づいた支援方針に的確な認識をもち、活動内容の考案や意見交換、問題定義、情報共有を行うための打ち合わせ時間を、さらに多くを設けていきたいと思います
3	障がいの特性や個々の課題、家族のニーズや子どもの成長に応じた個別の療育教材を使用し、日課として設定した個別活動の時間にそれそれが必要な取組を行っています 療育教材については、5領域に則したものを作成し、機能訓練、言語、コミュニケーション等に対応した教材を事業所で考え方作成しています	職員は児童発達支援管理者が作成した個別支援計画を周知しており、計画に則した教材を全員で考え、作成し、使用し、個々の取り組みに変化をもたせながら、偏ることなく、飽きさせることなく、活動に意欲を持ち、取り組めるよう工夫をしています また様々なことに興味を持ち、経験を積むことができるような内容の工夫をしています	親御様との面談や、活動の様子を見ていただく参観日などをを行い、情報共有や意見交換ができる機会を増やしていきたいと思います

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駐車場が狭く周辺にもないため、保護者会など集団で交流する機会が設けられていません 活動の様子などを見学いただき、日常的に子どもたちがどのように頑張っているか、事業所の取り組みに対し認知いただけるかなど、評価的に見学いただいた上で、保護者会として各家庭に交流いただき、育児に対する相談や、事業所への意見など、気軽にお話ができる時間を設けたいと思っていますが、公共機関による来所などご家庭にご負担いただくことに対し検討が進まない状態です	事業所の立地により、容易に改善ができません	環境的に事業所内での交流は難しいので、現在は個別に日程を組み面談月間として参観日を設けています 福祉センター内体育館活動の日を利用し、交流の機会を設けたいと考えています
2			
3			